



当ミッション主催「感謝と賛美とリバイバルキャンプ」が今年も3月27日～4月1日の日程で米国ロサンゼルスに日本から45名のチームと現地6名の参加を含め総勢51名で行われました。米国トランプ大統領と世界は黙示録時代の舞台の幕開けに向かってどのように舵取りしていくのか、今までにない緊張感のなかでチームは遣わされました。

このキャンプは2013年11月に召天された世界的な「感謝と賛美」の器、マーリン・キャロザーズ師から感謝と賛美の教えを受けることを目的に始まりました。特に今回の感謝と賛美とリバイバルキャンプは、2年ぶりにチャーチ オン ザ ウェイ教会のプレイヤーチャペルで祈り込む扉が開かれ、それに合わせるかの様に宿泊場所も新たなホテルに変わり、確かに神さまが新たな次の働きの扉を開こうとしておられることを感じさせるキャンプとなりました。特に「マーリン師を偲ぶ会」を通して改めて感謝と賛美の教えの重要性を再認識する貴重なひとときとなりました。20世紀初頭に始まった後の雨、アズサ街リバイバルの発祥の場所「ボニーブレアハウス」での祈り込み、ハリウッドで行われる賛美グループの路上ライブ等々、多彩な内容のプログラムで行われました。毎朝、毎晩、集会が行われるなか、最終日はブラックゴスペル界の重鎮ドクター・スティーブ率いる一行より、参加した賛美グループが日本のオリジナル賛美で講評を受ける特別プログラム「ゴスペル・ショーケース」も行われ、終末のリバイバルの働きを全うしていくうえで重要なキャンプとなりました。

これから激しい迫害と困難な厳しい黙示録時代の幕開けとも始まる再臨直前の後の雨の終末リバイバルにおいて、更に徹底して主に祈り聞き従い、感謝と賛美と喜びの霊に満たされながら働きの使命、魂の大収穫の働きを全うし、主の圧倒的な勝利と栄光を見ていきましょう。



終末リバイバルの使命の全うは「聞き従い」と「感謝と賛美」

すべてのことについて感謝しなさい。これがキリスト・イエスにあって神があなたがたに望んでおられることです。(第一テサロニケ5:18)

代表

エルサレム杉澤

今月号の内容

- 巻頭メッセージ..... 1
- 感謝と賛美とリバイバルキャンプ..... 2-3
- ミSSIONナリーズレポート..... 4-8
 - ・ U.S.A
 - ・ イスラエル
 - ・ チェコ
- 7部門会計報告..... 9-11
- 祈りのリクエスト／一般会計報告.... 12

写真右：チャーチ オン ザ ウェイ(ロサンゼルス)のプレイヤーチャペルで礼拝するパウロ秋元牧師(右)

感謝と賛美とリバイバルキャンプ

2017. 3. 27 ~ 2017. 4. 1

■ハンナ小林 (TLCCC 柏教会)

尊い主の御名を賛美致します。皆様のとりのなしのお祈りを心から感謝いたします。今回私は士師記6章14節の「あなたのその力で行き～私があるを遣わすのではないか。」のみ言葉により、実際的にも必要が満たされての派遣でありました。神さまはこの派遣を通して、主の十字架の群れ全体に大きな祝福と恵みをあふれる程に注いで下さったと確信しています。

一方時代はアメリカのトランプ新政権によって、世界はこれからどう変化していくのか？と考えさせられている世界状況の中、今までにない緊張感を覚えつつも、チーム全員が無事に守られ、神様に感謝致します。

さてこの派遣では、祈りこみが不可能だったチャーチオン・ザ・ウェイ教会のプレイヤーチャペルが2年ぶりに開かれ、チーム全員が祈りこみに行きました。昔アメリカ第一チームがこのプレイヤーチャペルで祈りこみをされ、「もしおそくなくても、それを待て。それは必ず来る。遅れることはない。」ハバクク書2章3節のみ言葉が与えられ、さらに教会を通してリバイバルの示し等も与えられ、プレイヤーチャペルでの祈りこみは、特別な恵みが開かれる場所でした。今回のこのチームが再び祈りに全員で導かれたことは、素晴らしい恵みと思われました。

又アメリカ・ロサンゼルスには、1906年アズサストリートリバイバルとあって、ブレアハウスの集会から聖霊の賜物の働きが広がった、アズサリバイバルの歴史があります。そのブレアハウスに祈りこみに行く恵みの時も導かれていました。

神様は多くの語りかけを与えて下さいましたが、朝晩での聖会でもパウロ秋元牧師が「すべての事について感謝しなさい。」(Iテサロニケ5章18節)「神を愛する人々、すなわち、神のご計画に従って召された人々のため



筆者：ポニーブレアハウス前

2 □ April 2017



には、神がすべてのことを働かせて益としてくださいることを、私たちは知っています。」(ローマ8章28節) これらのみ言葉を通して全ての事を感謝する、主に聞き従えば全てが益となる、これら2つの内容が挙げられていました。神さまに聞き従う事を土台として感謝していくのですが、それを決して短い期間で見ることではなく、長い期間で見ることによって、益となるのがわかってくるというものでした。しかしそれでもわからない事があつたとしても、最終的には神様の働きは永遠の中でわかるようになるという事も語って下さり、本当にわたしたちは永遠の存在であるという恵みが、とても素晴らしいと感じる事ができました。

派遣の後半では使徒の働き16勝24~25節のみ言葉から賛美の事についても語られていました。今回もハリウッドでの路上ライブ、Dr. ステューブのゴスペルショーケース等、賛美の働きが祝されていましたが、日本においても日本のオリジナル賛美が次々と教会の恵みによって与えられてきています。各教会に賛美隊が立てられ、あらゆる所での賛美の働きを通して人々の救い、いやし、解放といった神さまのみ業が進められています。これらはまさにリバイバルが始まった実質となってきています。こういった賛美に関する多くの恵みが神様に聞き従う歩みの中で開かれた事に、気付かされたチームとして感動しています。

マーリンさんを偲ぶ会の映像では、マーリンさんの究極なる笑顔に私は涙をこらえました。感謝と賛美を通して「喜ぶ」ことが、私のこれからの神様から導かれている1つの課題であることを知らされました。

本当にこの派遣を導いて下さった神様に心から感謝致します。最後に God is working for my good ~ ♪

■コイケ 希(ジョイ) フェイス

(TLCCC 東京アンテオケ教会)

主の御名を褒め称えます。皆様の尊い断食をもってのとりなしのお祈りを感謝いたします。私は今回の参加で、感謝と賛美とリバイバルキャンプには6回連続の派遣となりました。毎年遣わされる恵みに預かることができることを本当に心から感謝しています。

今回、日本からの45名のメンバーに加わせていただき、新しい段階の感謝と賛美とリバイバルキャンプという事で、ホテルも都ハイブリッドホテルという新しい宿泊場所に変わり、確かに神様が今回のキャンプを通して新たな扉を開こうとしておられることを感じました。

私は賛美隊としてハリウッドでの路上ライブとゴスペルショーケースへの参加を中心に参加していましたが、行きの飛行機から声の出づらさと、のどの痛みが許され、6年目の参加という事でしっかり備えたつもりだったのにな…と不安と焦りを覚えました。

今回のキャンプではチャーチオンザウェイのプレーヤーチャペルが開かれ、祈り込みの時が与えられました。のどの癒しと個人の示しについて祈っているとマタイの福音書の19章が心の内に示され、26節「イエスは彼らをじっと見て言われた。「それは人にはできないことです。しかし、神にはどんなことでもできます。」という御言葉が与えられました。不安になってしまったことを悔い改め、この御言葉を握り、ゴスペルショーケースの時には難なく声が出て神様を褒め称えることができるようになる、ということ信じました。

5日間のキャンプの中で8回の集会在りましたが、アメリカの宣教師の方々の証や各牧師のメッセージを通して、どんな苦難や困難も感謝し喜ぶこと、長い永遠のターム(期間)で神様の働きを見ること、信仰は経験になり経験は神様の言葉の確かさであるとい



ハリウッドでの路上ライブ



筆者：ゴスペルショーケース

うことが語られました。個人的には癒しのメッセージが強く語られました。

二日目(28日)に私は今年度の御言葉のポイントが信仰を用いることだと思い出し、のどが癒されたこと、そして賛美隊ゆえに路上ライブに行き、賛美することで信仰の歩みだしを行おうと思いました。歌い始めは声が出しにくく高音もかすれていました。途中でゴスペルショーケースで歌う事を控えたくりましたが、賛美することは御心であり、御心ならば神様が導いて癒してくださるだろうと確信しました。12曲ほど賛美する機会が与えられ、段々と声が出るようになるのが分かりました。ハレルヤ。

その夜にはマーリンさんを偲ぶ会が行われ、いつも感謝いつも喜ぶことの重要性を再度認識しました。

ゴスペルショーケースでは声がかすれることが許されましたが、神様の最善であったことと心の内にここで終わりではないという言葉が語られ、更に神様が次の段階の働きに備えなさいと示されていると感じました。

今後、リバイバルの中で賛美の働きはさらに大きくなり、また全世界へと広がっていくことを覚え、感謝と信仰の忍耐をもって、賛美隊として歩んでいきたいです。



Dr スティーブのゴスペルショーケース

U. S. A アメリカ合衆国

■ダニエル浅野 (TLCCC ニューヨーク教会牧師)



主の御名をほめたたえます。皆様のお祈りとご献金を心から感謝いたします。

3月27日からのロサンゼルスでの感謝と賛美とリバイバ

ルキャンプに恵みによって今年も参加します。感謝と賛美の恵み、祝福を受け、リバイバルの働きを受けることを期待して行って来ます。1月のハワイチームが祝福され、4月、5月アメリカチームが遣わされることになり、アメリカへの宣教チームが続きます。アメリカ各地の教会が強められるように、アメリカ100の教会設立の働きが進められるようにと祈っています。

4月アメリカチームを迎えての聖会は、現在の礼拝場所も貸して頂けることになったのですが、信仰の歩みでもっと広いレンタルスタジオにする予定です。前回、使用したレンタルスタジオですが、Wifi環境の悪さの問題も、モバイルWifiを購入して対応できそうです。さらに御心の多くの

方々が導かれるように、主の御心が100%なされるようお祈りください。

また、日曜礼拝の場所が変更になる可能性がでていますが、韓国のヴィジョン教会のご厚意で、その礼拝の後に使わせて頂いています。ヴィジョン教会の牧師先生が礼拝場所の移動を検討されているそうです。

新しいもっと広い礼拝場所のために祈り続けていましたが、思ったより早く時が来たのかもしれませんが、御心の場所で礼拝を持つことができるようにどうぞお祈りください。

<祈りのリクエスト>

1. 祈り、主に正しく聞き従えるように。
2. インターネットの働き、賛美隊の働きのため
3. 御心のメッセージ、オンライン礼拝のため
4. 御心の方々（まず20人以上）、奉仕者が集められるように、受け入れ体制のため
5. 預言クラス、御霊の賜物の働きのため
6. 教会学校のため、新しい礼拝場所のため
7. 御心の関わり、ユダヤ人との関わり。全米、中南米、ヨーロッパの働きのため
8. 健康、経済、事故・テロからの守りのため
9. 英語力アップのため

●ニューヨーク教会 HP

<http://tlccny.astone.tv/>

■フェイス佐々木 (TLCCC ロサンゼルス教会牧師)



ハレルヤ！主の御名をほめたたえます。皆様の貴いお祈りとご献金を心から感謝致します。

3月末に「感謝と賛美とリバイバルキャンプ」が現地トランス市で行われますので、現在、主に期待してお祈りをする準備しているところです。賛美隊「His Glory」の一員としてハリウッドでも賛美したいと思っています。

3月12日（日）の午後、日系老人施設「敬愛」で毎月音楽礼拝をされている集会を見学させていただきました。美しい写真や映像とともに、「バッハ・パイプオルガン」を聞き、聖書からメッセージが語られ、本当に素晴らしいミニストリーでした。動画、映像がたくさん用いられていて、たくさん学びがあり私たちのミニストリーにも今後役立てたいと思っています。

3月19日（日）礼拝後、日系老人施設（中間介護施設）で恒例となっているボランティアコンサートを行いました。Jゴスペルを中心に「君は愛されるために生まれた」、賛美歌「いつくしみ深き」、英語の賛美「Home」などを賛美しましたが、



お一人おひとりに主が豊かに触れて下さり大変祝福されました。ロサンゼルス教会の賛美隊も主のみ手によって働きが進んでいることを主に感謝しております。

ロサンゼルス教会の働きのために、主に聞き従って主の御心が出来ますように、どうぞ続けてお祈り下さい。

<祈りのリクエスト>

1. 徹底して祈り、聞き従えるように
2. 収穫のための働き手が速やかに起こされるように

3. 霊の賜物の働き（癒し奇跡など）のために
4. 賛美隊・ITの働きのために
5. 感謝と賛美の徹底のために
6. 健康、危険からの守りのために
7. 教会・個人の経済の満たしのために

8. 引越しの為に（教会事務局・牧師宅）
9. 速やかに英語力が引き上げられるように

●ロサンゼルス教会 HP

<http://astone-blog.jp/tlcccla/>

北米部門の宣教師の保険加入のためにお祈りください

北米宣教師の保険料のためのお祈りとご献金を本当に有難うございます。ダンケン里子牧師の医療保険の必要は満たされました。どうぞ引き続き、フェイス佐々木牧師の医療保険の必要が満たされるよう、お祈りとサポートをよろしくお願いいたします。

■エルサレム 瀧野真弓

(TLCCC ハワイ教会牧師 / TLCCC ロス教会協力牧師)



主のみ名を崇めます。皆様の貴いお執り成しと捧げものを心から感謝申し上げます。

3月の月初めに長野県の白馬で東京アンテオケ教会主催のスネルゴイキャンプが開催されました。

このキャンプは日本のリバイバルのために神様が導いておられるキャンプですが、アメリカにいながらにして音声配信の恵

みによって、キャンプの祝福とともに預かることができ、主に心より感謝しております。キャンプの中で行われた第7回白馬クリスチャンフィルムフェスティバルでは、「カンボジア孤児院の歴史」が優勝致しました。神様のお言葉によって始められた孤児院の働きですが、ハワイ教会のホームページにこの映像を掲載しており、豊かに用いられるように祈っております。

ハワイでは、1月のハワイ聖会にご出席くださいましたK姉妹が、聖会后から新たに東京アンテオケ教会のオンライン礼拝に毎日曜日参加して下さっております。また、3月中旬には、ハワイ教会のスタート時に教会の働きを助けて下さったM姉妹からホノルル在住のY姉妹にご連絡があり、姉妹はご両親のケアのために今は日本に戻っておりますが、ハワイに重荷がおありのようで何れハワイに戻ってきたいと仰っております。更にハワイの地における主のご計画が具体的

に開かれていくようにお執り成し頂けましたら幸いです。



<祈りのリクエスト>

1. 徹底した祈り聞き従いのために
2. 徹底した感謝・賛美・喜びのために
3. ハワイ教会の働きとY姉妹のお身体の完全な癒しのために
4. ロサンゼルス教会の協力牧師として、み心を成していただけるように
5. IT・AI、映像、賜物、賛美隊の働きにおいてみ心を成していただけるように
6. 速やかな英語力の引き上げのために
7. 健康・安全・経済のために

●ハワイ教会 HP

<http://astone-blog.jp/tlccchawaii/>

ミッションパートナーを募集しています！

聖所から流れ出る水ミッションでは、祈りと献金（毎月一口1,000円以上）をもって、海外宣教の働きに加わっていただく、ミッションパートナーを募集しています。現在、当ミッションからは、アメリカ（NY、ロス、ハワイ、デンバー、バトナルージュ、サンディエゴ）、イスラエル、チェコに宣教師・奉仕者を遣わし、各地での教会の働きがなされています。これからも、神様により、リバイバルの働きに向けて、世界の5大陸において教会設立がなされることが語られています。

この、海外宣教全般の働きを支えていくために、当ミッション事務局を運営していく上で、さらに多くの祈りと献金を必要としています。ぜひ、海外宣教の働きに重荷をもたれた方は、ミッションパートナーとして登録していただき、祈りと献金をもって、海外宣教に加わっていただきたいと思っております。重荷を持たれた方は、東京事務局まで、電話、ファックス、又はメールでご連絡いただければ幸いです。（又、主の十字架クリスチャンセンターの方は、各教会で登録を受け付けています。）

■上館 千恵子ジョンソン (TLCCC バトンルー
ジュ教会 / デンバー教会牧師)



主イエス・キリストの素晴らしい御名をほめたたえます。皆様のとりなしのお祈りと尊い御献金を心から感謝いたします。

今回、感謝と賛美とリバイバルキャンプに参加することができ、本当に大きな恵みでした。朝晩の聖会でのメッセージからたくさん語り掛けを受けることができました。プレーヤーチャ

ペルやボニーブレアハウスでの祈り込みも、マーリン師を偲ぶ会も、大変祝福され、霊が強められたように思います。キャンプで学んだ、聞き従いと感謝と賛美という土台を強化していかなければと思われました。

今、仕事と教会の働きの両立のために、弁当屋のお店を移転させ、時間を有効に使えるようにしたいと、場所探しをしています。できれば、礼拝や教会の働きもできるような場所であればいいと考えています。どうぞ、御心の最善の場所を見つけることができるようにお祈りいただければと思います。

また、賛美隊としての働きですが、ちょうど復活祭が近づいているので、その時期を利用したコンサートを予定しています。

<祈りのリクエスト>

1. 祈り聞き従い、みこころの働きをバトンルージュでできるように
2. デンバーの働きのために
3. 仕事と教会の働きの両立のために。忙しくなり過ぎないように。
4. 全身の蕁麻疹 (激しいかゆみ) とむくみの癒しのために また、治療のために
5. 礼拝出席者、教会員が与えられるように

●バトンルージュ教会 HP <http://www.tlccbr.org/>

●デンバー教会HP <http://users.astone.co.jp/denver/>



■ダンケン里子 (TLCCC 賛美の柱サンディエゴ教会牧師)



PTL! 主のみ名をほめたたえます。皆様のとりなしのお祈り、尊き御献金を心より感謝します。

感謝と賛美とリバイバルキャンプに参加してまいりました。サンディエゴ賛美の柱教会はモルテガイが聖

会の特別賛美と、ESHURUNがゴスペルショーケースの参加という祝福に預かる事ができました。モルテガイは「花色」を、ESHURUNは「Take me to the king」を賛美。さらにモルテガイはキャンプにサツマイモの差し入れ、意外とお料理上手な彼。私もおすそ分けしていただきましたが、とってヘルシーで美味しかったです。キャンプでも大好評だったらしいです。そしてさらに新しいPA システムがキャンプ中大活躍したようで、私の失敗すらも益となりました。このようにキャンプは恵みのうちに終了したわけですが、5月にはサンディエゴに海外派遣チームが遣わされてきます。そして夏の賛美大会予選も行われます。このまま引き続き御霊に満たされ、前進していかなければと気を引き締めさせられます。

さて最後に恒例のえしゅるん日記です。キャンプから帰ってきた翌日。彼女の高校では銃乱射未遂事件が発生。5時間にも及ぶ、Lockdownとなっていました。そしてその夜更に癲癇の発作が再び。確かに陸上部、期末テスト、そしてゴスペルショーケースと続いて重なってしまっていたスケジュール、寝不足、疲れ



がたまっていたようです。そしてあの日は妙に声がうわずっていたのを覚えています。そして脳にストレスを感じる事が発作の一番の引き金になります。人前にでて、緊張やプレッシャーを時には背負っていく賛美者としての働きは無理なんだろうか気弱になりましたが、神様の言葉に立ち続けなければいけません。再び立ち上がり、進んでいく賛美隊えしゅるんなのです。

<祈りのリクエスト>

1. 祈り聞き従い
2. 感謝と賛美
3. 賛美の働きの為
4. 賜物の働きのため
5. 御心のインターネットの働きのため
6. 語学力のため
7. 教会成長のため、礼拝場所のため
8. 娘のいやし
9. 新しい御心の仕事、また結婚の為

●サンディエゴ教会 HP

<http://astone-blog.jp/sandiego/>

Israel イスラエル

■ B. N.

バルハ・シエム！主の御名をほめたたえます。いつもイスラエルの働きのために祈り捧げて下さっていることを心から感謝しています。現在イスラエルは気候がとても不安定なため、多くの方が体調を崩していますが、私も少しの間体調を崩してしまい、なかなか思い通りの事ができなくなっていました。

しかし、その中でも主の守りは完全でありエルサレム教会の礼拝、聖書の学び会など重要な時には主からの力が与えられ守られています。主人や教会の方と共に癒しの祈りをしていますが、祈れば祈るほど主の御力を感じることができるのでこれからもさらに祈り続け主の癒しを求め続けていきたいと思えます。

そんな中、つい先日、息子の友達家族がうちへ遊びにきたときに、友達の妹（2歳半）が何かの拍子に顔を椅子にぶつけてしまい、口が切れて大泣きしてしまいました。すぐに簡単な処置をとり、その子のお母さんにお祈りをしても良いか聞いたら良いと言われたので癒しのお祈りをしました。その後、口が腫れて痛い、痛いと言いだしたので、あれっ？祈りが聞かれない？と一瞬不信仰になってしまいましたが、祈りは聞かれたと心の中で告白していたら、その後さっきまでぶくっと腫れていた上唇が通常に戻りました！子供のお母さんと顔を見合わせて、さっきまで腫れていたわよね？とお互いに確認しましたが、やっぱりすぐに腫れは引いて普通に帰っていて主のみわざを見ることができました！

その後もその子は何事もなく遊んでいました。これがきっかけで急激にその子のお母さんと仲良くなり、何がきっかけでクリスチャンになったのか、主を信じることの素晴らしさを証しすること

ができました。また、彼女も心を開いてくれてシングルマザーである彼女の大変さなどを話して聞かせてくれました。これからも彼女との関わりが開かれ救われるようにお祈り下されば幸いです。シャローム。

<祈りのリクエスト>

1. 祈り聞き従い、主の御心だけを行うことができるように
2. 御心の方々との出会い、関わりが開かれるように
3. エルサレム、テルアビブ教会の働きのため、また奉仕者が与えられるように
4. 経済的な必要のため
5. テロ、事故など危険からの守りのために
6. 健康のために
7. 賛美隊のために
8. 賜物が開かれ具体的に用いることができるように



Czech チェコ

■ マレック&サリー ヤクサロジェノバー (TLCCC プラハ教会)



アホイ！主のみ名を崇めます！いつも皆様の熱いとりなしのお祈りと尊いご献金を心から感謝します！

今月中旬に私たち家族はスロバキアのコシツェ経由でウクライナのウジュホロドへ行ってきました。去年預言で「昔の古い関わりを再び開く」と語られ祈っていました。ある時ひょんなことから17年以上前に訪問したこのウジュホロドの教会のボロジャ牧師と連絡がつき、彼の教会での奉仕の道が開か

れたのです！まさに預言の成就です！ウクライナはもとロシア領で、今は、国の東部では（この町からは1000キロ近く離れていますが）紛争が実際に起きている国です。私たちがウクライナに着いた日もまた東部の別の町で新ロシア派軍と政府軍の衝突があり、爆撃がありました。この町を中心はどこもボロボロでしたが、なぜか町全体に自由を勝ち取った喜びのようなエネルギーを感じました。国の危険な情勢とは打って変わって教会は非常に生き生きとしていて、まさに賛美の教会でした！7人の混声合唱がすばらしく圧倒されました！そしてボロジャ牧師はサクソ奏者で、彼も見事な演奏で賛美に加わり、賛美をいっそう引き立てていました。

マレックのショートメッセージも私の証しもウクライナの兄弟姉妹は非常に反応がよく、始終

「アーメン！」と声が飛び、彼らに主のみ言葉が浸透しているのがはっきりとわかりました。また最後に特別賛美もさせていただけました。今回スロバキアのコシツェで会いたいと願っていたのに会えなかったAC（使徒教会）コシツェ教会の牧師の一人が、この日、ちょうど同じ日に、もう一人のゲストスピーカーとしてここに呼ばれていたのです！会えないと諦めていた牧師と、結局ここで知り合うことができ、主はスロバキアの教会との関わりも今回同時に開いてくださいました！プラハ教会は新しい働き的大门、と預言がありました。まさにその言葉の実質をもう見始めています。スロバキア、そしてウクライナへの宣教チームが主のみ心のときに遣わされることできるよう、どうぞいまから祈りに覚えていてください。いつもとりなしの祈りを本当にありがとうございます！ではアホイ！



<祈りのリクエスト>

1. 主の御心に聞き従えるように
2. 御心の人への伝道が開かれ、実行できるように
3. プラハ教会に更に人が集められ、奉仕者及び奏楽者が建て上げられるように
4. 救われた友人たちの信仰が正しく成長し、教会につながるよう、また中傷、批判の霊から守られるように
5. 今年のクリスマスコンサートで御心のみが実現するように
6. マレックのお母さんの病の癒しのため（椎間板の損傷からくる腰痛）
7. マレックとともに更なるポーランド宣教、他の国への宣教が開かれるように
8. ロシアのメシアニックジューのA牧師と彼の教会との御心の関わりのため
9. プラハ教会の賛美隊の働きが祝福されるように
10. 「世界の終わり」のチェコ語版の出版が実現するように
11. ヨーロッパ難民問題が主にあって解決されるように
12. 日本の家族の救いのため